

Team DreamDrive

ピレリ・スーパー耐久2019 Round.4 オートポリス

開催日時：2019年7月20日～7月21日

開催地：大分県 オートポリス

Wether/Condition：【予選】曇りー雨 / ドライーウェット 【決勝】 雨ー曇りー雨 /
ウェットードライーウェット

ドライバー: A 竹田直人 / B 白坂卓也 / C 田ヶ原章蔵



前戦富士24時間レースでクラス優勝しシリーズポイントがクラス1位となったTeam DreamDrive。後半戦となる第4戦オートポリスラウンドはBOP50キロにウェイトハンデ40キロも加わり厳しい展開が予想される。

BRIN·NAUB®

CONTEC

KINSHA

PRO TAKE

しずくまフォート

Winmax

LIQUI MOLY

ID VOX

Reborn Cup

amazing°

PROCE.

CREFTS-MEISTER

Meister Group

ITO EN

TUNAY'S

IN-4-4

GIGAS JAPAN

萬進

Chézmoi

Azure

和田屋株式会社 写真館

CABANA

金剛防災

JMC

トヨタ

Djac.Com

SEA SCAPE

esco

eco

ALPHA LINE

ALPHA LINE

Day One

ROYAL FIELD

ALBIONART

TAKASAKI

aisei

ELECTRIC

MY PACKAGE

ALPHA LINE

TOA

Kentof

Turtleise

成田屋

ALPHA LINE

Team DreamDrive



オフィシャルプラクティス

未だ梅雨が明けない九州。連日雨予報だったが午前の走行では曇り空のドライコンディション。予選・決勝での天候でコンディションが大きく変わりシミュレーションができないが午前の走行で白坂選手はクラストップのタイムをラップ。午後の走行は様々なシミュレーションのメニューをこなし明日の予選に備えた。

公式予選

Aドライバー予選の竹田選手。曇り空のドライコンディションで始まった予選もウェイトハンデが加わり難しいセットで挑みクラス4番手Audi勢ではTOP。また自己ベストを更新する走りを見せた。

Bドライバー予選は白坂選手。竹田選手のマシン挙動からセットを微調整し挑んだ予選はフィーリングが合致せずクラス8番手で終了。AB合算タイムではクラス5番手からのグリッドとなった。

BRIN·NAUB®

CONTEC

KINSHA

PROTAKE

しずくまファクト

Winmax

LIQUI
MOLY

ID VOX

Reborn
CUP

amazing°

PROCE.

Meister Group

ITO EN

TUNAY'S

esco

GIGAS JAPAN

CABANA

金剛防炎

JMC

Djac.Com

Day One

ROYAL FIELD

ALBIONART

TAKASAKI

aissei

ELECTRIC

MYPAKAGE

T/OA

Kentrol

Turtoise

成田屋

ALPHALINE

Team DreamDrive



Cドライバー予選は田ヶ原選手が担当。突然の大雨で始めることになった予選はレインコンディションとなった。明日の決勝でも雨は予測される為、雨の決勝シミュレーションを見越して走りきった。

決勝

昨日の予選途中から降り出した雨は、朝になって止んでいるものの時折パラパラと降る雨の影響か路面はウェットな状態。5時間レースということや路面コンディションからスタートドライバーは竹田選手が担当することになったBRIN・NAUB RS3 LMS。レース開始前に雨は一旦降り止むがレインコンディンの状態でスタートした。しかし30分経過した頃、マシンが走行するコースコンディションは完全にドライになりつつある。レインタイヤではタイムも上がらずライバルチームもこぞってタイヤ交換を伴うピットイン。Aドライバーの竹田選手は1時間のドライビング義務があったので、同じタイミングでスリックタイヤにし再びピットアウト。その後もパラパラと雨は降るが本降りにはならず周



Team DreamDrive

回を重ねる竹田選手も上位と遜色のないラップでその後、想定していたよりロングドライブを見せ約90分でドライバーチェンジのためピットイン。白坂選手に交代した2ステイント目は完全にドライコンディション。少しでも上位に追いつきたいがウェイト等の条件で



我慢の走りに徹している。約70分のドライビングでクラス4番手で田ヶ原選手へと交代した。レース中盤を過ぎた頃、TCRクラスではAudi2台が戦線離脱している。なんとか踏ん張りたいBRIN・NAUB RS3 LMS。4番手争いでシビックTCRと激しいバトルを繰り返す田ヶ原選手だったが、無理をせず70分のドライビングを終えラストステイントの白坂選手へとバトンを繋いだ。スリックでピットアウトした白坂選手だったが、直後にスコールの様な雨に襲われる。スリックではコースにとどまる事も困難な大雨になり他チームも次々とレインタイヤに交換する。ドライバー判断でBRIN・NAUB RS3 LMSもレインタイヤへと交換し、すかさずピットアウト。その後、雨足は弱まるもコースは川の様な状態となり、TCRクラス3番手のシビックがクラッシュ。残り50分のところでFCYとなった。この間にクラス4番手となったBRIN・NAUB RS3 LMS。3番手のシビックとも同一ラップで約10秒ほどギャップ差だったので解除とともに最後のプッシュに期待がかかるが、

BRIN・NAUB®

CONTEC

KINSHA

PROTAKE

しずくまアト

Winmax

LIQUI MOLY

ID VOX

Reborn CUP

amazing®

PROCE.

Meister Group

ITOEN

FULLY'S

GIGAS JAPAN

Chéz moi

Azure®

水田建設 写真館

CABANA

金剛防災

日産

JMB

Djac.Com

SEA SCAPE

esco

eco

Day One

METAL FIELD

ALBEMART

TAKASAKI

aisel

ELECTRIC

MYPAKAGE

T/OA

Kentari

Turtoise

成田屋

ALPHA LINE

ALPHA LINE

ALPHA LINE

ALPHA LINE

ALPHA LINE

ALPHA LINE

ALPHA LINE

ALPHA LINE

ALPHA LINE

ALPHA LINE

ALPHA LINE

ALPHA LINE

ALPHA LINE

ALPHA LINE

ALPHA LINE

ALPHA LINE

ALPHA LINE

Team DreamDrive

FCYからSC導入となる。各チーム最後のバトルに備えていたが、濃霧のため残り15分を残しクラス4番手で赤旗となりレースは終了した。

しかし、レース終了後、TCRクラスの別Audiチームより車両規定の抗議を受け、自チームの違反行為があった事を初めて認識することになりました。裁定委員会の裁定では失格となり、応援いただいている皆様、AudiおよびAudiファンの皆様に深くお詫び申し上げます。今後はしっかりとレギュレーションを遵守し、テストを行い次戦茂木戦に備えたいと思います。

■ST-TCR クラス 予選総合タイム順位結果 ■(A,Bドライバー合算)

1) 75 AZIMUTH CIVIC TCR	3'58.931
2) 10 IDI GOLF GTI TCR	3'59.132
3) 97 Modulo CIVIC	3'59.159
4) 22 WAIMARAMA KIZUNA Audi RS3 LMS	4'00.694
5) 45 BRIN・NAUB RS3 LMS	4'00.840
6) 65 Phenomen Mars Audi RS3 LMS	4'01.390
7) 19 BRP Audi Mie RS3 LMS	4'01.561
8) 108 冴えカノfineレーシングwithRFC	5'04.257
9) 501 KCMG Annika CIVIC TCR	—————

■ ST-TCR クラス 決勝順位結果 ■

1) 97 Modulo CIVIC	120 LAP
2) 10 IDI GOLF GTI TCR	119 LAP
3) 108 冴えカノfineレーシングwithRFC	118 LAP
4) 22 WAIMARAMA KIZUNA Audi RS3 LMS	117 LAP
5) 75 AZIMUTH CIVIC TCR	110 LAP
-) 19 BRP Audi Mie RS3 LMS	41 LAP
-) 65 Phenomen Mars Audi RS3 LMS	15 LAP
-) 45 BRIN・NAUB RS3 LMS	— LAP
-) 501 KCMG Annika CIVIC TCR	— LAP

BRIN・NAUB®

CONTEC

KINSHA

PRO TAKE

しずくまファクト

Winmax

LIQUI
MOLY

ID VOX

Reborn
CUT

amazing°

PROCE.

CREFTS - MONSTER

Meister Group

ITO EN

TUNING

in-A-1

GIGAS JAPAN

萬進

Chéz moi

ALBAZART

写真館

CABANA

金剛防災

JMB

DJac.Com

SEA SCAPE

esco

eco

eco

ALPHA LINE

SDM

Day One

ROYAL FIELD

ALBAZART

TAKASAKI

aisei

ELECTRIC

MY PACKAGE

ALPHA LINE

TOA

Kentol

Turtleise

成田屋

ALPHA LINE

ピレリスーパー耐久シリーズ2019 オートポリスラウンドを終えて

代表・監督 澤田 栄宏

非常に難しいコンディションと重い車両でチームはよく戦いました。最後は赤旗中断での終了もクラス4番手はまずまずと思っていた矢先、車両違反による失格となってしまいました。TCR規定の車両をメーカーから購入し、耐久仕様の部品をカスタマーサービスから購入しており違反の認識は全くありませんでしたので、今回の件で各方面ともよく協議・調整し次戦以降に備えます。

Aドライバー 竹田 直人

シリーズも折り返しでオートポリスは是非とも入賞したい思いで参りました。練習走行ではまずまずの手応えで土曜の予選に臨みました。どうしても1コーナーを攻め過ぎてしまう癖があり少し納得の行かない感じでしたが自己ベストは更新しました。その内容を白坂選手に伝えるべくさらにセットを変えて予選再出走しました。なかなか良くなったと思ったら、その伝達が外れだった模様です。ごめんなさい。

決勝は、雨で波乱予想でスタートに行くことになりました。レインタイヤでの出走です。ところが雨はこの後降らずタイヤはグニョグニョです。たまらずスリックに交換、するとちょっとパラパラは来るものの素晴らしいバランスでした。レインタイヤもスリックタイヤも舐め尽くす長いステイントは収穫が大きかったです。

この悪天候の中、わざわざ応援に来てくださった皆様、涙を飲んで来れなかったお客様を含めて、いつも応援ありがとうございます。次戦のモチゲでもさらに良い走りをお見せしたいと思います。

Bドライバー 白坂 卓也

金曜午前のセッションはトップタイムでしたスリックもウェットもフリーでは常に上位タイムが見えていたのですが、Aドライバー予選後に急遽セット変更して臨んだBドライバー予選ではセットが裏目に出てしまい中断に沈んでしまいました。レース結果に関しては残念と言うしかありませんが、90kgという重たいウェイトの中、表彰台を狙えるポジションで戦えた事は大きな収穫と自信に繋がる内容だったと思います。次戦もてぎでもこのランキングを守れるよう頑張ります！

Cドライバー 田ヶ原 章蔵

今年のAudi車のBOPとランキング1位の勲章のウェイトが昨年より90キロも増えて挑んだオートポリスラウンド！チームとしてはランキングを考えて想定を4位に設定。本当に天気に翻弄される荒れたレースでしたが、チーム全員で力や知恵を振り絞り、我々ドライバーもそれぞれがベストの仕事をこなし無事に予定通り4位でゴールできました！誇りに思います！リザルト上は失格と残念な裁定が下りましたが、全くもって一喜一憂せずに真摯に受け止め次回のレースにまた地に足をつけて走り続けます！我々にはスピード、素晴らしいチーム力、そして信頼出来る仲間や沢山のご支援者の方々、ファンの応援があります。胸をはり、子供達にも憧れるチームをやっているのですから！沢山の皆さんやチームからも沢山の激励、応援メッセージを頂き、改めて感謝申し上げますし、リスペクトしております！これからも皆さんの応援が本当に力になります！熱い熱い応援引き続き宜しくお願い申し上げます！

BRIN·NAUB®

CONTEC

KINSHA

PROTAKE

しらくまフオド

Winmax

LIQUI MOLY

ID VOX

Reborn CUP

amazing®

PROCE.

Meister Group

ITOEN

TURLEY'S

GIGAS JAPAN

萬進

Chéz moi

Azure®

水田建設 写真館

CABANA

金剛防災

Day One

Digital Field

ALBION ART

TAKASAKI

aisel

ELECTRIC

MYPAKAGE

T/OA

Kentari

Turtoise

成田屋

ALPHA LINE